

中医協 総 - 7 - 2
1 7 . 1 . 2 6

高度先進医療の新規技術の概要について

(平成 17 年 1 月 26 日中医協総会分)

技術名：樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法

適応症：腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍
(食道癌、胃癌、大腸癌)

技術の概要：

癌ワクチンによって、癌細胞に対する特異的な免疫を担当するTリンパ球を活性化し、患者自身の免疫系により癌を攻撃する。活性化Tリンパ球移入療法とは異なり、癌細胞に特異的なTリンパ球のみを活性化する点が特徴。

具体的には、患者から血液を採取し、Tリンパ球に攻撃の標的分子を提示する樹状細胞を抽出・培養する。これに癌細胞に特異的に発現している腫瘍抗原ペプチドを取り込ませ、その後患者の血中に戻す。これを3週間ごとに4回繰り返す。

申請医療機関：九州大学病院別府先進医療センター
(大分県別府市・140床)

実施科：外科

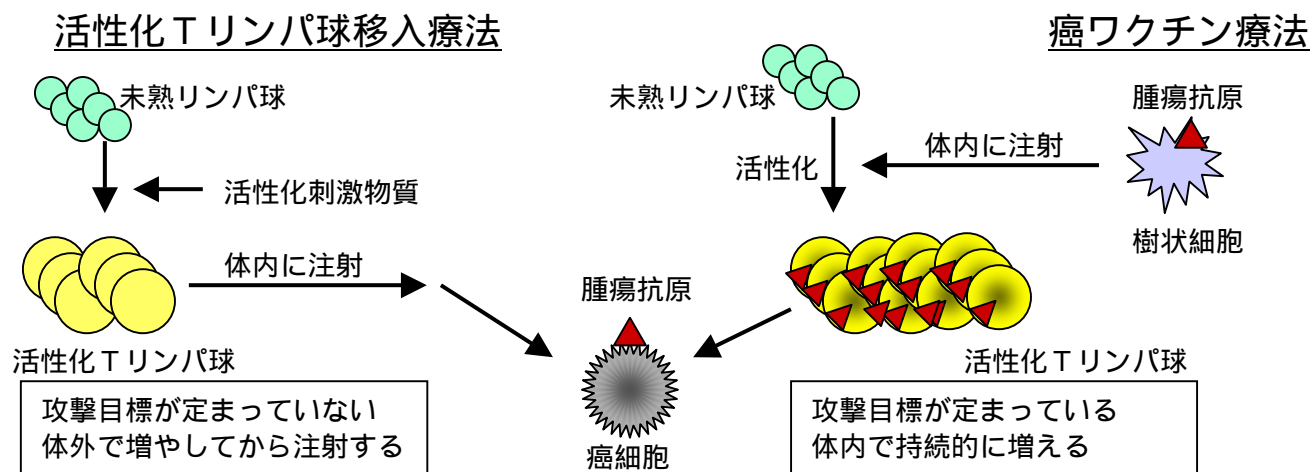
症例数：13例

申請日：平成13年10月17日

費用の例(入院97日間)：

(高度先進医療分) 35万4千円(4回あたり)

(特定療養費分) 139万5千円



技術名：内視鏡下甲状腺癌手術

適応症：甲状腺乳頭癌（手術予後の良いものに限る）

技術の概要：

内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術については、既に高度先進医療として承認されているが、本技術は、甲状腺悪性腫瘍の中でも最も頻度が高く、最も予後の良い甲状腺乳頭癌に対して、内視鏡を用いて手術を行うもの。良性腫瘍手術よりも広汎なリンパ節の郭清を必要とする。内視鏡を用いないで行う手術方法と比較して傷が小さく、術後の癒着による飲み込み時の違和感や、筋肉の萎縮、運動障害、凝り、頭痛も少ない。

申請医療機関：筑波大学附属病院
（茨城県つくば市・800床）

実施科：外科

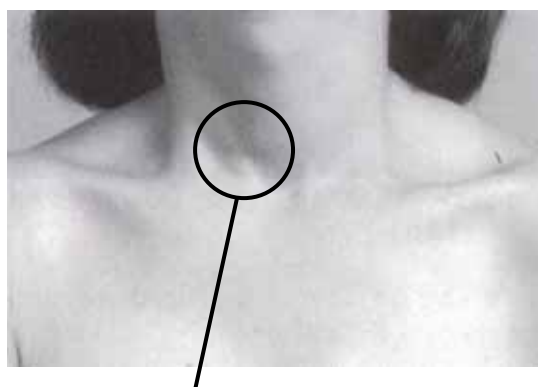
症例数：16例

申請日：平成14年2月13日

費用の例（入院14日間）：（高度先進医療分）14万円
（特定療養費分）35万3千円



頸部より内視鏡を挿入しているところ



手術痕（術後9ヶ月）
（肉眼でもほとんどわからない）

技術名：骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法

適応症：転移性骨腫瘍で既存の治療法では疼痛制御不良なもの、及び類骨腫（診断の確実なものに限る）

技術の概要：

転移性の骨腫瘍、及び有痛性の良性腫瘍である類骨腫に対し、CT透視ガイド下に経皮的に電極を刺入して誘電加熱により腫瘍を焼灼する。転移性骨腫瘍に対しては、疼痛を消失させることが出来、類骨腫に対しては治癒させることが出来る。従来の外科的治療と比較しても創が小さいため患者への負担が少なく、入院日数も短縮される。

申請医療機関：群馬大学医学部附属病院
（群馬県前橋市・705床）

実施科：整形外科

症例数：8例

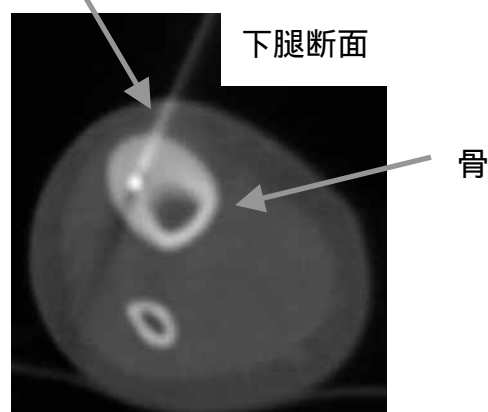
申請日：平成15年11月14日

費用の例（入院3日間）：（高度先進医療分）11万9千円
（特定療養費分）8万2千円

<参考> 類骨骨腫

20歳代を中心とする青年層の、四肢の骨に好発する良性骨腫瘍。夜間痛を生ずる。

骨腫瘍に電極を刺入しているところ



技術名：泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下 リンパ節郭清術

適応症：泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例、または画像上
リンパ節転移が疑われる症例

技術の概要：

精巣腫瘍摘出後、追加の化学療法・放射線療法の必要性を判断するために、腹腔鏡を用いて後腹膜リンパ節を切除しリンパ節転移の有無を確認する。

切除したリンパ節に腫瘍の転移がなければ、追加の化学療法・放射線療法を行わず、その副作用を避けることが出来る。手術自体も、開腹手術と比較して患者の身体的負担が少なく、術後入院日数も短い。

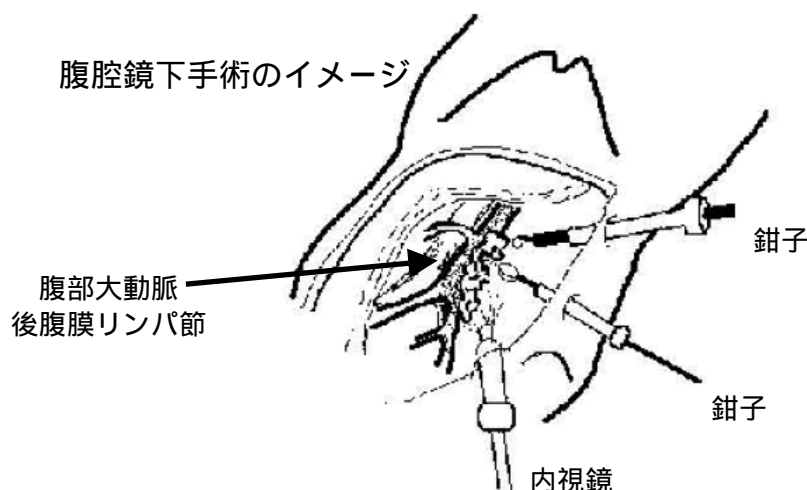
申請医療機関：東北大学医学部附属病院
(宮城県仙台市・1272床)

実施科：泌尿器科

症例数：25例

申請日：平成16年4月30日

費用の例(入院12日間):(高度先進医療分)36万円
(特定療養費分)28万5千円



技術名：HLA 抗原不一致血縁ドナーからの CD34 陽性造血幹細胞移植

適応症：HLA 適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児の癌、難治性造血障害、および免疫不全症

技術の概要：

従来、骨髓血、末梢血からの造血幹細胞移植は、ドナーと患者の HLA 型が一致しなければ移植後の GVHD が重症化するため、HLA 型の適合したドナーからのみ行われていた。

本技術は CD34 陽性を指標として造血幹細胞のみを精製し、純化して移植することにより、GVHD を軽減し、HLA 不適合血縁ドナーからも移植を行うことを可能にするもの。

申請医療機関：大阪府立母子保健総合医療センター
(大阪府和泉市・375 床)

実施科：小児科

症例数：5 例

申請日：平成 16 年 5 月 6 日

費用の例 (入院 125 日間):(高度先進医療分) 141 万 8 千円
(特定療養費分) 798 万 5 千円

<参考> HLA (human leukocyte antigen: ヒト白血球抗原)

赤血球の ABO 式血液型と同様に、白血球に存在する「血液型」。実際には体中の細胞が同じ HLA 型をもち、自己と非自己の峻別に役立っている。

<参考> CD34 (cluster of differentiation 34: 分化抗原群 34)

細胞膜抗原の一種。CD34 陽性細胞は、造血幹細胞であると考えられている。

<参考> GVHD (graft versus host disease: 移植片対宿主病)

移植された血液中に含まれる、ドナー由来の T リンパ球によって、患者 (ホスト) の組織が攻撃されて生ずる障害。急性 GVHD と慢性 GVHD に分けられ、急性 GVHD では皮疹、黄疸、下痢を、慢性 GVHD では多彩な免疫異常症状を呈する。

技術名：下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法

適応症：一次性下肢静脈瘤

技術の概要：

下肢静脈瘤に対しては、最も確実な効果のある治療としてストリッピング（静脈抜去）術が行われている。しかし、ストリッピング術では、腰椎麻酔が必要であり、入院期間が長くなる他、下肢の痺れなど手術に伴う合併症の可能性がある。

一方、低侵襲的治療としては硬化剤を用いた静脈瘤硬化療法が行われているが、重症例では再発率が高く、有効ではなかった。

本技術は、静脈にファイバーを挿入し、レーザーを照射して静脈を閉塞させるもの。局所麻酔下に行えるため外来での治療も可能であり、治療効果も高い。

申請医療機関：高知大学医学部附属病院
（高知県南国市・605床）

実施科：外科

症例数：167例

申請日：平成16年8月31日

費用の例（入院2日間）：（高度先進医療分）5万円
（特定療養費分）6万円

ファイバーを静脈に挿入しているところ



技術名：頸椎椎間板ヘルニアに対する Yag-Laser による経皮的椎間板減圧術（C T透視下法）

適応症：

頸椎椎間板ヘルニア（画像診断上椎間板線維輪の破綻していないヘルニアであって、かつ、神経根症が明らかであり、保存治療に抵抗性のもの。後縦靭帯骨化症、脊柱管狭窄状態、脊髄症状のあるものは除く）

技術の概要：

局所麻酔下に針で頸椎の椎間板を穿刺し、ファイバーを挿入してレーザー照射により椎間板髓核を蒸散させる。これにより椎間板ヘルニアによる神経圧迫を軽減させ、ヘルニア症状を改善させる。

手術による治療と比較して、局所麻酔のみで行うことが出来、傷も小さいため、患者の負担が少なく、入院日数も短縮される。

申請医療機関：東京慈恵会医科大学附属柏病院
（千葉県柏市・640床）

実施科：放射線部、脳神経外科

症例数：5例

申請日：平成15年8月30日

費用の例（入院2日間）：

（高度先進医療分）17万4千円（1回につき）

（特定療養費分）3万円5千円

頸椎の穿刺の仕方



頸椎を穿刺しているところ



頸椎断面